

家庭教育学級

令和2年度 第1号

だより

R02. 12. 18



編集：札幌市教育委員会 家庭教育学級担当

こんにちは！今年度、教育委員会が家庭教育学級を担当します 中原 と 鈴木 です。コロナで大変な今年度ですが、どうぞよろしくお願いいたします。まずは自己紹介です。

中原 弘貴 今年度より、担当させていただきます。昨年度までは、スポーツ局で冬の五輪・パラリンピック招致に係る仕事をしておりました。家では2歳娘（絶賛イヤイヤ期に突入中！）のパパです。着任当初は、初めての仕事に「家庭教育とはなんぞや」と悪戦苦闘しておりましたが、皆様の活動記録を拝見し、家庭教育の素晴らしさを学ばせていただきました。コロナ禍の今だからこそ、出来ることを中心に、微力ながら皆様を精一杯サポートさせていただきます！

（絵 長女）



鈴木 宏宣 昨年度に引き続きまして担当させていただきます。主に開設書類や学習報告書などの確認、周知文書等の送付作業を行っています。2年前までは小学校に勤務しておりました。家庭教育学級の活動では、学習報告書でお寄せいただく素晴らしい内容から、家族の幸せと子育てに真摯に向き合う皆さんの熱意にいつも頭の下がる思いがしております。コロナで大変な中ですが、少しでもお力になれるよう努力いたします。

（絵 作者不詳）



◆◆ コロナ対策の様子から ◆◆



収束の兆しがなかなか見えず、感染回避対策でご苦労なされている学級も多いと思います。お勤め先のご都合や、その他様々な事情で学級生が参加を見合わせている場合など、募集だけでなく学習会開催も大変な中、何とか工夫して学習活動を続けている学級で実際に取り組みされていた例です。



- 参加者の間隔が取れるスペースを確保する
- 玄関から会場までの道順を一方通行にする
- 学習のはじめに感染防止の注意事項を確認
- 窓を常時開けて換気、加湿器・扇風機の活用
- WEB会議ツール活用のオンライン講座
- 玄関、会場に⇒ [アルコール消毒液・スプレー、非接触体温計、健康チェック表]
- 机・椅子の消毒、マスク着用



～シーブーム用健康観察カード～ 年 月 日

本日はご参加いただきありがとうございます。
お手数ですが、健康チェックにご協力をお願いします。
この用紙は、帰校後1枚お持ち帰りいただきます。
帰校後、参加者に各症状が出た場合、速やかに連絡いたします。

| | |
|---------|---------|
| 参加者氏名 | |
| お子さまの学年 | 年 組 年 組 |
| 緊急連絡先 | |

①本日、37.5以上の発熱はありません (なし あり)

※今日の体温 _____ 度

②咳、鼻水、喉の痛みなどの風邪症状はありません (なし あり)

③全身のだるさ、倦怠感はありません (なし あり)

④味覚異常、臭覚異常はありません (なし あり)

⑤何箇所かにも上記の症状はありません (なし あり)



多くの学級では、参加人数に合わせて視聴覚室等広めの特別教室を使い、3人掛け長机に1～2人のスペースで学習を行っていました。また、子どもたちの学習場所からなるべく離れた教室を使ったり、生徒の休み時間と重ならないように学級生の集合と解散を行ったりという工夫もありました。学校が使えず地区センターで行われた講座では、教室二つ分くらいのスペースがあり、身体を動かす活動でも、十分な間隔が取れていました。受付での非接触検温やアルコール手指消毒、窓を常時開けて換気もばっちりな中、はじめに学級長さんから感染防止のための注意があって、学級生みんな確認していました。

☆10月29日「幌南小学校」の学習会です！

学習テーマ 『 バランスボールエクササイズ 』

講師 バランスボールインストラクター 佐藤 摩耶 さん 他2名

コロナで家にいる時間も多かったため、身体を動かす活動の学習計画でした。基本姿勢や動き方、バランスチェック、骨盤ダンス、体幹トレーニングと進む中、脳トレや良い姿勢など、昨今話題の子どもの体力低下や姿勢の悪さが、呼吸や歯並びにも影響してくることなど、分かりやすく解説してくださいました。また「体力があるとたくさんことができます！弱っている人は、困ったとき、つい誰かのせいにしたくなるものですが、体力をつけることで前向きに自分で解決していこうという気持ちになれます」とのお話は、目からウロコの落ちる思いがしました。皆さん20分ほど動き続けると「足フラフラ！もうやばい！」という声も聞かれましたが、動きがスムーズになるにつれて楽しそうな声が飛び交っていました。「頑張る」トレーニングというより「楽しく爽やか」に心も身体もリフレッシュできたようです。



☆11月12日「新陵小学校」の講演会の様子です！

学習テーマ 『いじめない! いじめられない! 家庭での子どもの自己肯定感の育て方』

講師 自己開花アドバイザー 中井 麻里子 先生 さん



「自分は自分でOK! 一人一人はダイヤモンドよりも貴重です。子どもの自己肯定感が高いと“いじめ”は起きようがありません!」…そんな爽やかで力強いメッセージがいっぱいのお話、学級生の皆さんは深く頷いていました。



講師の中井先生ご自身の人生体験から導かれた「自己肯定感の育て方」には、実感がこもり説得力があります。“子育て”に前向きな自信をもち、親自身の自己肯定感についても改めて振り返る講座でした。学級生の皆さんは「子どもが頑張った過程を褒めるようにしたい。子どもの意見を聞いて、それを実行する日を実際に作ってみたい。できる範囲のお手伝いで小さな成功体験を積み重ねさせていきたい」など、子育てに向かう上での家庭の大切さを改めてかみしめていました。そして、子どもだけでなく親自身も自己肯定感を育てていくために、家庭でできる具体的な手立てを、すぐにでも試してみたいという感想をもったようです。

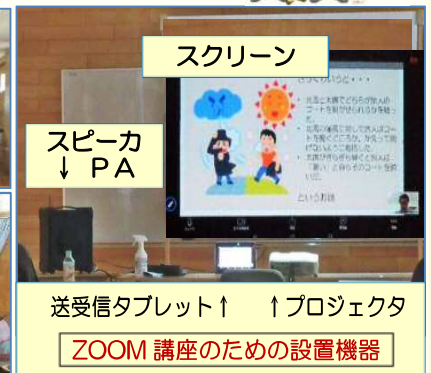
☆11月17日「東月寒中学校・羊丘小学校」合同開催のリモート講座です！

学習テーマ 『小児版インフォームド・コンセントについて』

講師 札幌医科大学 保健医療学部看護学科 浅利 剛史 先生



話題の ZOOM 活用講座ということで、興味深く参観させていただきました。主に医療現場でのお話でしたが「子どもにとって、痛い、怖い…等のマイナス経験に大人がどう向き合うべきなのか」という内容は、日々の子育てに十分応用できるものでした。また「子どもが自分の判断で選択（意思表示）することが、主体性や責任感を育てる」というお話にも大切な示唆がありました。さらに「医療処置の実際について、経験の機会を作ることや可視化など、発達段階に合った方法でわかりやすく情報を伝えることが、子どもの健全な心の発達と自己肯定感を育てる」というところも、学級生の皆さんがしきりにメモを取っていたところです。





☆11月24日 「ふしこ幼稚園」の発酵調味料講座です！

学習テーマ 『はじめての醬(ひしお)講座』

講師 心と身体を整える「ゆゆた工房」主宰 鷲見 未織さん



鷲見先生ご自身が幼少時代から病弱で、たくさんの薬に頼るばかりだったのが、“発酵の力で腸を整える”ことに会い、薬いらずで元気に暮らせるようになっていく実体験談はとても説得力があり、学級生の皆さんも深く頷くことしきりでした。後半は「醬」というものの正体や効用・作り方から、身体を整えていく作用までを、とても分かりやすく解説してくださいました。「母親の体調がよいと子どもがぐずるといこともなくなります。腸内フローラのバランスが、身体の成長はもちろん心の発達や性格にまで影響を与えます」というお話からは、子どもの健やかな成長と家族の健康を守るための大切なヒントをいただきました。コロナ禍の今、病に立ち向かう砦である免疫力を一層高め、おいしく豊かな食生活を支えることのできる「醬」及び「発酵」の素晴らしさを満喫する講座でした。



◆◆ 学習報告書…書き方のポイント ◆◆

★「(2) 学習した内容の詳細」⇒ 2つの観点から整理するとまとめやすいです。

＜観点 A＞「学んだ項目」⇒ 何について学びましたか？

＜観点 B＞「学んだ内容」⇒ その内容は具体的にはどのようなことでしたか？



○ 講演、講義の場合 ⇒ **A** ～について学びました **B** その内容(概要)は…なことでした

○ 座談会の場合 … ⇒ **A** 話し合ったテーマ **B** 参加者から出た意見や感想

○ 実習、製作、実技(調理・製作・ダンス・運動・ヨガ等)の場合 ↓

A ・…を実際に作りました ・…をやってみました ・…を試食(実食)しました
 ・…で楽しみました ・学級生以外の参加者(子ども、大人)と一緒に～を行いました… など…

B ・〇〇をよりおいしくすること ・子どもたちの成長に与える影響
 ・食材や調味料の種類とお勧めの作り方 ・子どもと一緒に作るときのお手伝いポイント
 ・素材そのものの味を生かす調理方法 ・…の調理方法や家庭で手軽に作れるアレンジレシピ

★「学んだことを…子育てに生かして…？」の欄は「面白かった、楽しかった」という書き方ではなく、具体的な「子どもに伝えたいこと、家庭で取り組もうと思ったこと、普段の生活への振り返り、驚きや気づき」など、子育てにどのようなプラスがあったかという観点でまとめると書きやすいです。

- ・子どもに(こんなことを)伝えたい、してあげたい(させたい)です。
- ・〇〇を学び、今後……に生かしたいです。
- ・子どもと一緒に…をやって(続けて、家族で取り組んで)みたいです。
- ・こんな子に育ててほしいと思いました。
- ・普段の生活を振り返り、これからはこうしたい。親としてこんなことを心がけていきたいと思います。
- ・感想…

| | | | |
|---|-------------|--------------|------------------|
| { | ～に感動しました。 | ～に希望をもちました。 | ～でリラックスできました。 |
| | ～がよく分かりました。 | ～で心が楽になりました。 | ～は、目からウロコの経験でした。 |



おしらせ

今年度は、コロナの収束が見えず、「情報交換会」等の開催が難しい状況です。しかし、今だからこそ、出来ることをかたちにしたいと思い、札幌市の特設ウェブサイト「さっぽろ家庭教育ナビ」のリニューアルを検討しております。皆さんに寄り添った、より魅力あるサイトを目指しておりますので、完成した際は、是非、多くの方にご覧いただければと思います。《 来年4月頃公開予定 》



◆◆ 学習報告書…書き方のポイント ～実例から～ ◆◆

報告書の作成には、大変なご苦労があたりかと思いますが、いつも滞りなくご提出いただき、ありがとうございます。私ども担当者への温かいお言葉まで添えていただくこともあり、重ねてお礼申し上げます。内容がよく分かるだけでなく、読んでいるこちらにも勉強になる報告書がたくさんございました。引き続き、よろしくお願いいたします。

| 学 習 報 告 書 | | (3) | 何回目の学習会なのかをご記入ください。 |
|--|--------------------|-------------------------------------|---|
| * | 区 | 園・学校名 札幌市 ○○幼稚園 | 会場 〔使用教室 施設等〕 □□の部屋 使用した部屋(施設名)をご記入ください。 |
| 実施日時 | | 令和 * 年 ** 月 ** 日 (*) | <input checked="" type="checkbox"/> 午前 <input type="checkbox"/> 午後 10:00~12:00 (↑※準備、設営、片付け含めて2時間以上↑) |
| 学習項目 選択番号 | 講師名はフルネーム | 2 - 4 | |
| 学習形態 | ご記入ください。 講演会 + 座談会 | | |
| 参加人数 | 合計 23 名 | 学級生 20 人 | 学級生以外(含む子ども) 3 人 |
| 講師氏名 | □◇ □◇ 先生 | 職業・肩書 | ▽▲▽▲ 主宰 |
| 講師謝礼 | * , * * * | 円 (講師の交通費、贈呈用花束代、水代を含む、PTA 補助等は含まず) | |
| 必修学習項目と学習した内容の詳細 | | | |
| (1) 必修学習項目 (一覧表より) | | おこづかいの与え方や教育費の備え方について学ぶ | |
| 講演会のテーマ『キャッシュレス時代の今、考える 幼少期からできる お金トレーニング』 | | | |
| (2) 学習した内容の詳細 (子ども・家庭に関わる内容を記載、箇条書き可) | | | |
| <p>○ <u>子どもたちを取り巻く社会環境の変化について学びました。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現代の生活では、両親や祖父母からのプレゼント等により簡単に欲しいものが手に入るため、無くて我慢したり、無いなりに他の物で代用したり、自分で作成したりする等、工夫の機会が失われ、子どもがお金のマネジメントを学べません。 ・ キタカや電子マネーの普及により、お金を使っている実感が薄くなります。 <p>○ <u>幼少期のお金のマネジメントの教育法について学びました。</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 数と量の一致を覚えさせるために、見えるお金で練習したり、自販機で買う時や、遠足のおやつを買う物の際に実際に金種を教えたりするなど、具体的な場面で練習することができます。 ・ 「こづかい帳」をつけさせ「自分が何にお金を使っているのか」という気づきの機会をもたせます。そうすることで、お金の使い方を見直したり、予算の計画の際にマネジメントする感覚を養っていくことに活用します。 | | | |
| 学んだことをどのように子育てに生かしていけそうですか？ (箇条書き可) | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・ お金の教育は大事なことと思いつつ、これまでは、お金を実際に使わせる場面になると不安になって、親が口を出し管理してしまいがちでしたが、講座で教えていただいた「必要なもの、欲しいものを決めるのにも練習が必要です。子どもがお金の管理に失敗しても怒らず、一緒に対策を考えて、今後失敗しないことを考えさせるのが大事です。」という先生のお言葉で、子どもに実際に考えさせ、お金を使わせてみるのが大事なのだと気づきました。 ・ キャッシュレス化が進み、私の子ども時代とは社会が大きく違っていますが、お金の重みは今も昔も変わらないので、子どもには「お金のありがたみ」をまず教えていきたいと思いました。 ・ 今回は、講師の先生が小学校で実践されている「おこづかいゲーム」を体験しました。ゲームの中で、欲しいものを買うのか、貯金すべきか、学用品など生活に必要な物を買うのかなど、実生活にありそうなお金に関するイベントが発生したのが面白かったです。家でも子どもと実際にやってみて、お金の使い方を一緒に考えていきたいです。 | | | |



お菓子(食べ物)等飲食費の支出はできませんので注意してください。出納簿と一致しているかご確認ください。

○○について、こんな内容を読んだ…のように、具体的をお願いいたします。



☆ この例のように「学んだ事をどのように子育てに生かしていけるか」という観点で記入してください。